

教育センター 警備員教育計画書〔現任教育・1号警備業務（機械警備業務）〕

教育区分	教育事項	教育内容	教育方法	教育時間数	実施者
基本教育	イ 警備業務実施の基本原則に関すること。	警備業務の意義と重要性、警備業法第15条等	講義	1.0	(一社) 愛知県 警備業協会 教育センター 講師
	ロ 警備業法その他警備業務の適正な実施に必要な法令に関すること。	警備業法主要条文、憲法、刑法、刑事訴訟法、遺失物法等	講義	1.0	
	ハ 事故の発生時における警察機関への連絡その他応急の措置に関すること。	警察機関等への連絡の重要性、負傷者の救護と危険防止の措置、現場保存の方法等	講義及び実技	1.0	
業務別教育	イ 当該機械警備業務を実施するために使用する警備業務用機械装置の機能に関すること。	警備業務用機械装置の基本形態等	講義及び実技	1.0	
	ロ 警備業務用機械装置による警戒及び指令の方法に関すること。	無線局運用上の留意事項、基地局の安全対策等		1.0	
	ハ 指令業務に従事する警備員と現場に向かう警備員との間の連絡の方法に関すること。	指令業務の意義と重要性、警備業務対象施設に関する情報の収集と整理、警備員に対する指示等		1.0	
	ニ 基地局において盗難等の事故の発生に関する情報を受信した場合における不審者又は不審な物件の発見その他現場における事実の確認の方法に関すること。	現場接近の方法及び駐車位置の選定、警備業務対象施設に入る前における点検・検索、犯人と対峙した場合の措置等		1.0	
	ホ その他当該機械警備業務を適正に実施するため必要な知識及び技能に関すること。	通報・連絡業務の重要性、警察機関等への連絡、鍵の管理等		1.0	
				合計 8時間	